

業務名（業務コード）			混載貨物確認情報登録（H P K）												
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	縁 1	縁 2	条件						コード	入力条件／形式
1	入力共通項目			an	398			M							
2	M AWB番号	MAB	an	20		M									M AWB番号を11桁以内で入力 ただし、孫混載仕分けの場合は、16桁以内で入力
3	孫混載及び無料期間適用表示	MKH	an	1		C									(1) システムにより蔵置料金計算を行う旨が登録されており、かつ無料期間を適用する旨が登録されている利用者である場合、以下の形式で入力 (A) M AWBが運送中（他空港向一括保税運送中及び同一許可内運送中は除く）の場合 ①孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用する場合は、スペースを入力 ②孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用する場合は、「Y」を入力 ③孫混載仕分け以外で、かつ保管料の無料期間を適用しない場合は、「A」を入力 ④孫混載仕分けで、かつ保管料の無料期間を適用しない場合は、「B」を入力 (B) 上記（A）以外の場合 ①孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力 ②孫混載仕分けの場合は、「Y」を入力 (2) 上記（1）以外の場合、以下の形式で入力 ①孫混載仕分け以外の場合は、スペースを入力 ②孫混載仕分けの場合、「Y」を入力 (3) 詳細は「混載貨物確認情報登録（H P K）」業務業務仕様書本文-7. 特記事項を参照
4	到着便名1	FL1	an	6		M									(1) 航空会社コード+フライト・ナンバーを入力 (2) フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。
5	到着便名2	FL2	an	5		M									便名の日付部を以下の形式で入力 D D M M M
6	到着空港	POT	an	3		C								I A T A 空港コード	省略した場合は、入力者から変換した空港コードを処理対象とする
7	ジョイント混載	JNT	an	1		C									ジョイント混載貨物の場合は、「J」を入力
8	混載業	BBB	an	5		C								利用者コード	
9	貨物取扱開始年月日	SDT	n	8		M									貨物取扱開始年月日≤貨物取扱終了年月日≤システム年月日であること
10	貨物取扱開始時刻	STM	n	4		M									貨物取扱開始年月日時刻<貨物取扱終了年月日時刻<システム年月日時刻であること
11	貨物取扱終了年月日	EDT	n	8		M									貨物取扱開始年月日≤貨物取扱終了年月日≤システム年月日であること
12	貨物取扱終了時刻	ETM	n	4		M									貨物取扱開始年月日時刻<貨物取扱終了年月日時刻<システム年月日時刻であること
13	H AWB番号	HAB	an	20		M									(1) ジョイント混載貨物の場合は、混載業のH AWB番号を入力 ただし、別の混載業のH AWB番号は入力不可 (2) 16桁以内で入力 (3) 入力内容を無効にする場合は、先頭3桁に「XXX」を入力 (4) ジョイント混載貨物の場合で混載業のH AWB情報をすべて入力した場合は、「END BB」を入力 (5) M AWBに係る全H AWB情報を入力した場合は、「END」を入力
14	* 個数	PCS	n	6		C									
15	* 重量	WGT	n	8		C									整数部6桁、小数部1桁
16	* 重量単位コード	JTI	an	3		C								重量単位コード	省略した場合は、上位欄の重量単位を引き継ぐ K G M : キログラム L B R : ポンド
17	* 特殊貨物記号	SPC	an	3		C								S P C (特殊貨物)コード	
18	* 事故貨物	DMG	an	5		C								事故コード	(1) 複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 (2) 税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を入力 (3) 税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由
19	* 手作業記号	MST	an	1		C									(1) ロケーション管理を手作業で行う場合は、「M」を入力 (2) 他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可

業務名（業務コード）			混載貨物確認情報登録（H P K）												
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	縦 1	縦 2	条件			コード	入力条件／形式			
20	*	ロケーション	LOC	an	80										
							C								

- (1) 以下の形式を入力
 ロケーション、符号「,」、個数
 例) A B C, 個数
 ①ロケーション：3桁以上の英数字
 ②個数：6桁以内の数字
 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可
 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数
 は対となっていること
 ⑤ロケーションと個数は「,」で区切ること
 (2) 特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合
 ロケーション（3桁）、符号「,」、個数
 例) V A L（個数の省略可）
 V A L, 個数（複数ロケーション入力可）
 V A L／A B C D, 個数（「／」以降は自由入力）
 (3) S P 貨物の場合は、先頭2桁に”S P”を入力
 例) S P X（3桁で入力）
 (4) 特殊貨物ロケーションコードは、5種類以内であること
 (5) スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が80桁以下であること。
 (6) 他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可